

# 株・金利・為替など

## 最新指標 ネットで提供

### アイ・エヌ又 金融機関の窓販支援 情報センター

アイ・エヌ情報センター(東京都千代田区、岩瀬一徳社長、03・5281・1100)は、銀行や証券会社など金融機関の窓口販売向けの経済データサービス提供を11日に始める。金融商品取引法の9月施行に伴い金融機関による顧客への説明責任が重要視されるため、株式や金利、為替などの動きなどをパソコンを使って顧客に説明できるウェブ情報サービスを提供する。サービスの利用料は1支店月8万円から。

金融機関向けに構築した情報提供サービス「グラフにっぽん」は、インターネットを通じて経済データを提供し、金融機関の窓口担当者が顧客の目の前でパソコンを使って説明するためのツール。海外の株価や為替などの動向も国ごとに一覧表示ができる。金融商品の説明を補足する資料として、必要な指標を印刷することも可能。

経済データを経済全般、株式・産業、金利・為替、商品・不動産の四つの分野にまとめ、最新の指標をグラフで表示する。さまざまな経済指標の中から、金融商品を選ぶ際の参考となる指標に絞り込んでいることも特徴。具体的には東証株価指数(TOPIX)・株価平均や、法人企業統計季報、生産・出荷・在庫指数確報、日本銀行の外

国為替相場などが閲覧できる。

従来、金融機関窓口ではアナリストが作成したレポートなどを説明資料として活用していた。アイ・エヌ情報センターの新たなサービス導入により、金融機関の窓口担当者は最新のデータを活用して顧客に説明できる。